

----- (はじまり) -----

アスカ「...あかん。許したって。ほなね」

(地元からの電話を切るアスカ、そこにタケシが通りかかる)

アスカ「あ、ちょっと。そう言えば、あんたって方言を話さないわね。確か出身は東北でしょ」

タケシ「そうですけど。訛って話すとみんな引くんですよね」

アスカ「そう？素朴な感じでいいんじゃないの？」

タケシ「ズーズー弁ですよ。関西弁みたいに勢いがあるわけじゃないし...」

アスカ「ふーん...。しゃべってみてよ」

タケシ「嫌ですよ。きっと馬鹿にしますから、先輩の性格からして。ところで、アスカ先輩って出身は東京なんですか？」

アスカ「どこだと思う？」

タケシ「イントネーションが微妙に違うんですよね...。絶対に関西でしょ」

アスカ「えっ、わかる？うまく標準語を話してるつもりなんだけどな」

タケシ「ほら、お互い、田舎者じゃないですか」

アスカ「田舎？馬鹿ね。私は大阪出身。立派に都会よ！」

タケシ「はいはい、どうせ僕は田舎者ですよ。でも、こうやって話していても標準語って何か冷たい感じって言うか、堅い感じがしますよね」

アスカ「標準語って書き言葉で、方言は話し言葉って聞いたわよ。書き言葉が冷たい感じがして話し言葉が暖かい感じがするのは当然みたい」

タケシ「何か変な感じですね。書き言葉で話すなんて」

アスカ「そういう意味だと、標準語ってコミュニケーションするには適してないかも知れないわよね。話し言葉のほうが感情が込めやすいもんね」

タケシ「そうですよね。あ！そう言えば。雑誌で方言女子がもてるって特集してましたよ。えっと、確かこの雑誌に…。ほらこれです」

方言女子1人と標準語女子3人が標準語男子4人と合コン。

A(標準語女子)		A(標準語男子)
B(方言女子)	×	B(標準語男子)
C(標準語女子)		C(標準語男子)
D(標準語女子)		D(標準語男子)

合コン後に気になった人を男子に聞くと？ 女子Bが3人、女子Cが1人

アスカ「なるほど…。って、これサンプル数少なすぎでしょ」

タケシ「でも、3/4が方言女子に気があるって言ってるんですよ」

アスカ「逆だとどうなのよ。そんなに方言が魅力あるなら、方言女子3人に標準語女子1人にすれば、いいじゃない。気になる人が方言女子3人でバラけるはずよね」

タケシ「あ、それも実験してますよ」

方言女子3人と標準語女子1人が方言男子4人と合コン。

A(方言女子)		A(方言男子)
B(標準語女子)	×	B(方言男子)
C(方言女子)		C(方言男子)
D(方言女子)		D(方言男子)

合コン後に気になった人を男子に聞くと？ 女子Bが4人

アスカ「やっぱり…。単にその場で珍しい言葉を話す人に注意が向いているだけじゃないの。本当に方言ってコミュニケーションで有利になるわけ？」

タケシ「まあ、実は合コンの件は、僕も怪しいなとは思ってました。でも、こっちのケースは信憑性が高いですよ」

アスカ「また、何か実験してるの？」

タケシ「はい。今度は日本語が分からない外人11人に標準語と方言で漫才を聞かせるんですけど、それぞれ聞いた後にどちらが面白かったかを判定してもらったんですよ」

アスカ「11人は2回とも同じ人たち？」

タケシ「あ、外人11人は別の人たちです。標準語で漫才を聞いた外人と方言で聞いたグループは重複してません」

アスカ「ふーん。で、どうなったの？」

タケシ「標準語の漫才は4人が面白いと判定してます。対する方言はなんと9人です。言葉も分からないのにですよ」

アスカ「4/11と9/11か…。ちょっとサンプル数は少ないけどさっきよりはまだ、ましね」

タケシ「検定してみたいでしょ？」

アスカ「そうね。電卓で計算す…って何で私がやるのよ。いい加減、あんたがやったらどうなのよ。…ったく。世話が焼けるわね。えっと、母比率の差の検定だと検定結果は-2.16815で、確率は…1.5%か。2.5%より小さいから…」

タケシ「有意差があるんですよね」

アスカ「一応、そうなるわね。言葉が分からないのに不思議な話ね」

タケシ「外人さんたちは漫才の言葉は分からなかったけど、方言の場合、お互いに何を言い争っているのか、なんとなく分かったって言ったから、話し言葉の方言でコミュニケーションするのは理に適っているかもしれませんよ」

アスカ「じゃ、早速今度の合コンをセッティングしなさい。私の方言を聞かせてあげるわよ。あ！でも、あんたの友達は地方の人が多いからだめよ。効果が薄れるからね。都会出身者にしなさい」

タケシ「先輩は方言より、その性格を変えたほ×fさづ；hf。っ痛！」

アスカ「言うとおりにすればいいの！」

タケシ「もう、人使い荒いなあ…」

----- (つづく) -----